

まるっと
わかる

基本知識から業務で出会う
“あるある”なギモンまで

血液検査・

日常的な業務のなかでかわることの多い「検査」。
血液や尿、喀痰などさまざまな検体で行われます。
その目的や検体の取り扱いの注意点など、
明日の業務からすぐ参考になるポイントを解説します！

喀痰



〔編集〕

田部陽子 たべ・ようこ

順天堂大学大学院医学研究科
臨床病態検査医学 教授

1992年山梨医科大学医学部(現・山梨大学医学部)卒業。同年、順天堂大学医学部臨床病理科(現・臨床検査科)に入局。米国MDAndersonがんセンターおよび米国立がん研究所留学を経て、2016年より同科教授。専門は血液検査学。

堀内裕紀 ほりうち・ゆき

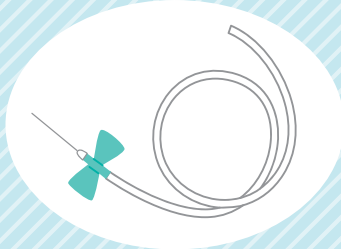
順天堂大学大学院医学研究科
臨床病態検査医学 准教授

2003年順天堂大学医学部卒業、2013年同大学院病態解析診断学修了。内科研修医を経て、2006年より順天堂大学臨床検査科に入局し、現在は同科医局長として、診療・教育・研究に従事。

CONTENTS

- ① 採血の前後において、「ナースがおさえないこと」…………… 22
- ② 血液検査に関する「ナースがおさえないこと」…………… 28
- ③ 尿検査に関する「ナースがおさえないこと」…………… 42
- ④ 喀痰検査に関する「ナースがおさえないこと」…………… 52

尿検査・ 検査



特集&付録で
検査に
強くなろう！

あわせてCheck!

【特別付録】

検査にかかわる医師が厳選!

“これだけは”おさえておくべき 検査値まとめBOOK

(文庫判・全76ページ)

病棟を問わず、ナースであればまずおさえたい検査項目に関する知識をギュッと詰め込みました! 検査に関する業務については本特集で、検査の基準値などについては付録でポイントをおさえましょう。

